

分析法のトレースとスピードアップに ～コンベンショナルLCからUHPLCまで幅広い分析法に対応～

現在ご使用のLCについて、以下のようなお悩みはありませんか。

異なるベンダーのLCシステム間の分析法が容易にトレースできない。将来を見据えてUHPLCによる分析の高速化、コストや溶媒削減を検討していかなければならない。しかし、同時に現在のHPLCシステムのルーチン分析も維持、継続しなければならない。

このようなシステム間で起こる悩み、ギャップを埋めるべくWaters UHPLCシステムACQUITY Arc が登場しました。

確立されたHPLC分析法を使用されている皆様の既にバリデートされた試験法をサポートしながら、分析法の互換性、UHPLCへの移管をサポートする最新のクォータナリーLCシステムです。

多くの皆様にご体験いただけるよう、東京、大阪それぞれのラボにACQUITY Arcシステムをご用意いたしました。HPLCを使った日々のルーチン分析がACQUITY Arcシステムによって本当に再現するのか皆様方のサンプルをお持ちいただき、ぜひ実際にご覧ください。

サンプルの持ち出しが難しい場合は、ACQUITY Arcシステムを皆様の元にお持ち込ませていただき、ご覧いただくことも可能です。日数、場所、内容などご要望に応じますのでお気軽にご相談ください。



Acquity® Arc™

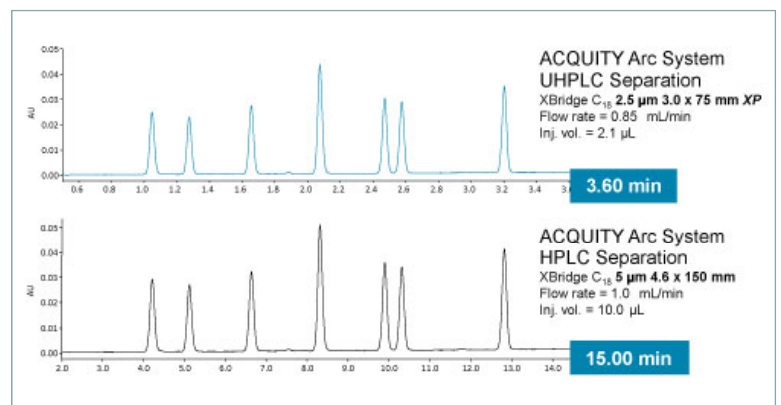
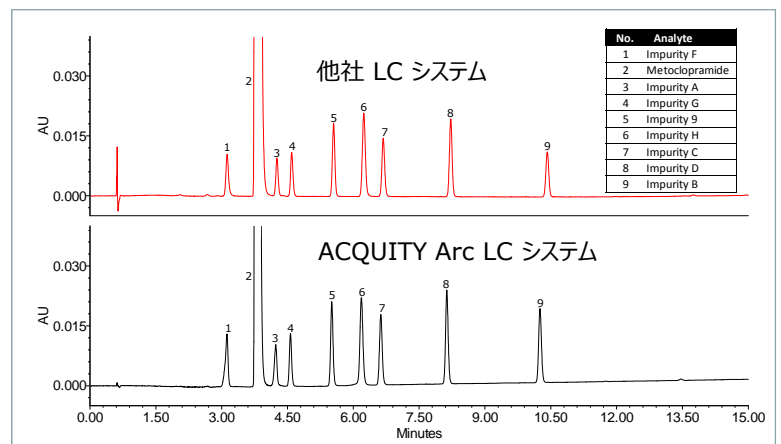
分析例

現在のHPLC分析を再現します。

- Arc Multi-flow pathテクノロジーにより、HPLC・UHPLCの二種類の流路を、分析ごとに切り替え、最適なシステム容量にて分析することが可能です。
- EmpowerソフトウェアのグラジエントSmartStart機能を用いてグラジエント開始のタイミングを調整することで、保持時間を分析法の基準に合わせます。

UHPLC用のシステム容量を用い、充填剤粒子径2.5 μmのXPカラムを接続することで、分析時間のスピードアップが可能です。

カラムカリキュレーターで容易に換算を行えます。



Arc Multi-Flow Pathテクノロジーと グラジエントSmartStart機能を使用したシステムエミュレーション

カラム分離に最適なデュエルボリュームを選択することで、HPLCとUHPLCを簡単に切り替えることができ、これによりHPLCとUHPLCのギャップを埋めます。信頼性および堅牢性に優れたシステムは製品の一貫性、および規制ガイドラインへの遵守を確実なものにし、ダウンタイムおよび不具合を最小限に抑えます。

Arc Multi-flow path テクノロジー

クオータナリソルベントマネージャ-R Auto*Blend Plus(TM)

全統 | その他 | データ

A: [] [?] [?]

B: [] [?] [?]

C: [] [?] [?]

D: [] [?] [?]

最小圧力: 0 psi

最大圧力: 9500 psi

位置: **パス 2**

パス1又はパス2を選択

グラジエント SmartStart

クオータナリソルベントマネージャ-R Auto*Blend Plus(TM)

全統 | その他 | データ

シール洗浄頻度: 1.00 分

2 mL/分に加速: 0.45 分(4.444 mL/分/分)

グラジエント開始:

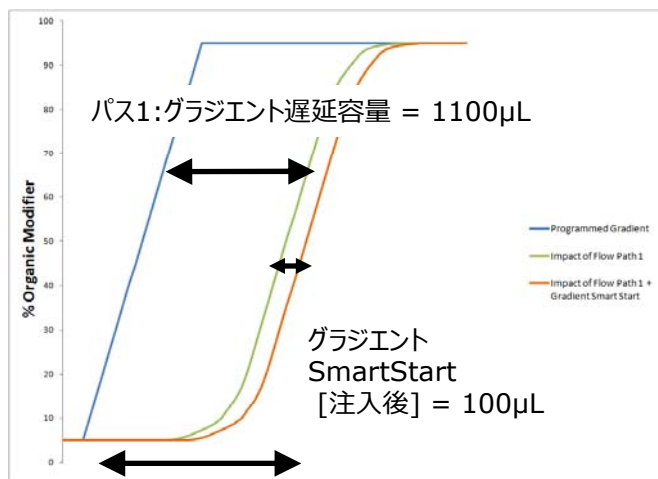
注入時

注入前

注入後

100 μL

差分を入力



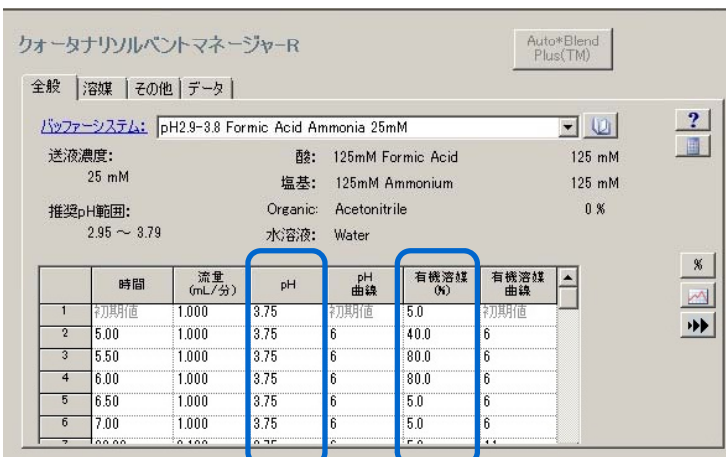
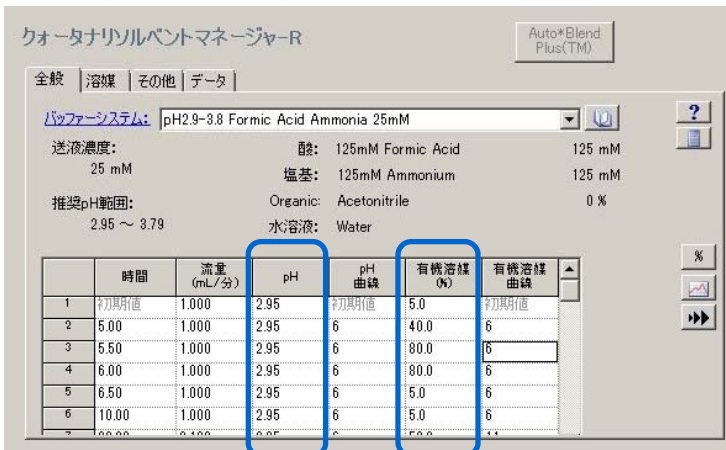
グラジエント遅延のトータル (ACQUITY Arc) = **1200μL**

移管元のHPLCシステムのグラジエント遅延容量 **1200μL**

- システムボリュームとミキシング効率の両方をエミュレーション：流路の選択とグラジエントSmartStart機能だけで対応
- 注入シーケンスと同期して、グラジエントの開始を調整：システムボリュームが種々異なるLCシステム間での分析法移管も可能
- グラジエント条件の変更なし：異なるシステム間でも、USP <621> のグラジエント条件に関するガイドラインに適用

Auto•Blend Plus テクノロジー

ACQUITY Arcに搭載されているAuto•Blend Plusテクノロジーにより、オンラインで純溶媒からpHバッファーを調整。ごくわずかなpH増分でも組成を変化させることができます。この機能により、煩雑でミスを起こしやすい、手作業による移動相溶液の調製を避け、移動相調製にかかる時間を大幅に削減すると同時に、調製における日間再現性を向上させます。



グラジエントテーブルに指定のpHを入力するだけ。その後はシステムが自動的に調整

- ルーチン分析 : 設定されたpHと塩濃度でシステムがバッファーを自動調整
- 分析法バリデーション : 分析法の頑健性評価に強力なツール
- 分析法開発 : pHスクリーニング時に、それぞれのpH調整が不要

ACQUITY Arc システム デモンストレーション お申し込み用紙

ご参加されるお客様は下記の項目をご記入、またはお名刺を添付ください。

ご氏名	フリガナ ()		
ご勤務先名			
ご施設・部署名			
ご勤務先住所	〒		
TEL		FAX	
e-mailアドレス			
ご希望内容	<input type="checkbox"/> 弊社ラボへご来社での体験会 (<input type="checkbox"/> 東京 <input type="checkbox"/> 大阪) <input type="checkbox"/> お客様の実験室でのデモンストレーション		
ご依頼の分析内容 <small>※現時点でお決まりの範囲で構いません。</small>	試料溶解溶媒 : 移動相 : 流量 : mL/分 分析時間 : カラム : カラム名 粒子径 μm、内径 × 長さ mm カラム温度 : °C サンプル温度 : °C サンプル注入量 : μL 検出器 : <input type="checkbox"/> UV <input type="checkbox"/> PDA <input type="checkbox"/> 蛍光検出器 <input type="checkbox"/> 示差屈折計		
ご希望日時	第一希望	月	日 時～
	第二希望	月	日 時～
ご参加予定人数	名様		
その他ご希望がございましたらご記入ください。 注目点 : 分析時間短縮 ・ 操作性 ・ 再現性 ・ メンテナンス ACQUITY Arcシステムに期待される点			

*お客様の情報は個人情報保護法にもつき、日本ウォーターズ株式会社にて厳重に管理させていただきます。

*お申し込み書を受領次第、弊社担当よりお電話にてご連絡いたします。

内容についてのご質問や、ご相談がございましたらご連絡ください。

お問い合わせ先 : 日本ウォーターズ株式会社 テクノロジーセンター 丸野 TEL:06-6304-8888

日本ウォーターズ株式会社

www.waters.com

東京本社

〒140-0001 東京都品川区北品川1-3-12 第5小池ビル
TEL 03-3471-7191 (代表) FAX 03-3471-7118

大阪支社

〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-14-10
新大阪トヨタビル 11F
TEL 06-6304-8888(代表) FAX 06-6300-1734